

令和6年度
(2024年度)

市立ひらかた病院の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

本院は「心のかよう医療を行い、信頼される病院」を基本理念に掲げ、患者の皆さんや地域の皆さんとの信頼関係を築き、安心と満足を得られる質の高い医療を提供することで地域に貢献するよう努めています。

現在、人員不足から2病棟を休棟せざるを得ない状況となっていますが、早期の開棟を目指すとともに休棟による医療サービスの低下や経営への影響を最小限に留め、政策医療や先進医療を提供する急性期病院として、地域における役割と責務を果たしていけるよう努めます。

あわせて、令和4年度に策定した「市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）」に基づき、持続可能な医療提供体制の確立に向け、病院経営の健全化に取り組んでいきます。

<部の構成>

- ・診療局、看護局、薬剤部
医療安全管理室、
医療相談・連携室
- ・事務局
総務課
経営企画課
医事課

<主な担当事務>

- (1) 患者の診療及び看護に関すること。
- (2) 薬品の検査、出納及び保管に関すること。
- (3) 病院の安全管理に関すること。
- (4) 医療相談及び地域連携に関すること。
- (5) 文書、人事、服務、病院施設の管理に関すること。
- (6) 病院の経営、財務、契約に関すること。
- (7) 診療費請求等の医事業務及び電子計算組織の管理運営に関すること。

重点的な取り組み：診療体制の充実

本院は、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、救急医療や小児医療など、地域において政策医療を提供する急性期病院としての役割を担っていることから、政策的医療機能の維持・充実に努めるとともに、令和4年度には内視鏡手術支援ロボット“ダヴィンチ”を導入し、昨年度には術後患者などに効率的な治療を施すことを目的とした高度治療室（HCU）を整備するなど、急性期病院としての機能強化にも取り組んできました。

このほか、より専門性の高い医療を提供するための各種センター化も進めており、これまでの“消化器センター”や“下肢機能再建センター”、“音声外科センター”に加え、令和6年1月には他職種チームにより高度で最適な糖尿病医療を行う“糖尿病センター”を開設しました。

こうした取り組みを充実・強化するとともに、新興感染症等への取り組みとして、感染症専門医を確保し、第二種感染症指定医療機関として、地域における感染症対策の中心的な役割を担う体制づくりを行います。

実績	<ol style="list-style-type: none">① 各種センターなどより専門性の高い医療の提供。② 感染症専門医の確保。
説明	<ol style="list-style-type: none">① 令和6年1月より、新たに糖尿病センターを開設し、生活習慣の改善に向けた栄養指導や血糖測定器の使用説明など多職種でのチーム医療に取り組みました。また、さまざまな合併症のリスクに対しても24の豊富な診療科を持つ総合病院としての強みを生かして診察を行いました。② 大阪医科薬科大学に働きかけ、感染症専門の医師を確保するとともに、新型

	<p>コロナウイルスや新たな新興感染症等への対応に向けて、院内の感染防止対策の強化を行いました。</p>
--	--

重点的な取り組み：地域連携のさらなる推進

本院は、かかりつけ医等への支援を通じて地域医療の確保を図る“地域医療支援病院”として、地域の中心的役割を担うべく取り組んできました。

今年度においても、紹介率及び逆紹介率の向上を図るため、地域の医療機関からの患者の受入れを積極的に行っていくことは勿論、医療機関への訪問や各種講座やセミナー等を通じ、地域の医療機関と顔の見える関係を築くなど、より一層、信頼関係を高めることで、地域での役割を果たすとともに地域完結型医療の推進に取り組んでいきます。

また、急性期病院として地域医療を支えていくため、長期入院患者の転院先となる、地域の回復期病院・慢性期病院など後方支援病院の確保及び連携強化の取り組みについても進めています。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
紹介率	80%	70.3%
逆紹介率	90%	81.7%

実 績	<p>① 地域の診療所及び後方支援病院への計画的かつ積極的な訪問活動による連携関係の強化。＜訪問活動件数 353 件／年＞</p> <p>② 紹介率・逆紹介率の維持・向上。 ＜紹介率 67.4%（R 5）→69.9%（R 6）前年度比 2.4%増、逆紹介率 79.4%（R 5）→81.1%（R 6）前年度比 1.7%増＞</p> <p>③ 登録医療機関の確保。＜総計 365 件 前年度比 19 件増＞</p>
説 明	<p>① 地域医療支援病院として地域の医療機関に対し地域医療提供体制における医療機能の役割の相互理解と連携強化を図るため、計画的、積極的な訪問活動を行うとともに、「断らない医療」への取り組みを進めました。</p> <p>②③ ①の取り組みにより、紹介率の維持・向上につながり、新規の登録医療機関を確保することができました。</p>

重点的な取り組み：医療情報システムにおけるDX推進とセキュリティ対策強化

令和6年度診療報酬改定により「医療DX推進体制加算」が新設されたことを踏まえ、マイナンバー保険証への移行を円滑にできるよう周辺環境の整備に努めるなど、院内のDX推進に積極的に取り組みます。

また、サイバーセキュリティ対策として、これまで不正接続制御やサイバー攻撃を検知する機能、オフラインバックアップを実装するなどの対策を講じてきたところですが、今年度はサイバー攻撃を想定した事業継続計画の策定や、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理ガイドライン」に沿った部門ごとのマニュアルの整備など、さらなる実効性を伴ったセキュリティ強化に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 電子処方箋ならびに救急時医療情報閲覧機能を実装。 ② 事業継続計画（ICT-BCP）を策定。 ③ サイバー攻撃を想定した訓練を実施。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者サービスの更なる充実や、公立病院としての役割を果たすため、オンライン資格確認機能を基盤とした電子処方箋管理サービスや、救急時に患者の医療情報を迅速に確認するための救急時医療情報閲覧機能を実装しました。 ② 外部からの悪意あるサイバー攻撃をはじめ、医療情報システムにおける全般的な障害発生時に対応するため事業継続計画（ICT-BCP）を新たに策定しました。 ③ 厚生労働省の「医療情報システムの安全管理ガイドライン」に沿ったサイバー攻撃（ランサムウェアによるシステム障害）を想定した訓練を令和7年2月に実施しました。

重点的な取り組み：情報・魅力の積極的な発信

北河内医療圏における中核病院としての役割をはじめ、地域医療支援病院やがん診療拠点病院としての機能、専門性を追求する医療提供体制など、本院の「強み」を広く理解いただくため、病院ホームページや情報誌「かわせみ」、市民公開講座やオープンセミナー、くらわんかフォーラム等の行事を通じ、積極的に情報を発信していきます。

また、本年は新病院開院から10周年にあたるため、これを記念する事業の実施や、InstagramなどSNSも活用し、医療機能だけでなく多様な視点から本院の魅力を広く発信することで、地域から信頼され、選ばれる病院となるよう努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域住民向けの行事開催。＜開催回数7回／年、延べ参加人数533人／年＞ ② 開院10周年記念イベント『ひら10フェス』開催。 ③ ホームページやSNSを活用した情報発信。
-----------	---

説明	<p>① 市民公開講座では当院の医師やコメディカル職員が講師を務め、健康増進に役立つ医療情報を発信するとともに、当院の取り組みを紹介しました。当院に通院している患者やその家族以外にも、多くの地域住民が参加しました。</p> <p>② 新病院開院 10 周年を記念したイベント『ひら 10 フェス』を開催しました。イベントでは、講師を招いての記念講演や健康セミナー、また、手術室見学ツアーや病院の様々な箇所ですトラクションを実施するなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを行い、合計で 1,124 人の参加がありました。</p> <p>③ 『ひら 10 フェス』といったイベントや、当院で産まれたベビーを紹介する「ゆりかご」などの取り組みについて、ホームページや SNS といった様々な媒体を活用して、情報発信を行いました。</p>
-----------	--

重点的な取り組み：患者サービスの向上

待ち時間の有効活用の観点から導入した、来院時の受付番号をもとに診察の進行状況を可視化する「診察順番表示システム」について、更なる利用促進を図るため、広く周知に努めます。

また、増加する外国人の患者さんに快く受診や療養をしていただけるよう、現在の医療通訳ボランティアの派遣やタブレットによる遠隔地医療通訳システムに加え、印刷物や案内表示について多言語化を図るなどの環境整備に努めます。

このほか、患者さんアンケートの結果等を踏まえ、院内で定期的を開催しているサービス向上委員会等で議論を重ね、患者サービスの向上に努めます。

実績	<p>① 「診察順番表示システム」の内、スマートフォン等による利用数を可視化。</p> <p>② 院内案内図に英語表記を追加。</p> <p>③ 安全な受付体制を整備。</p>
説明	<p>① 外来患者用のブルーファイルにチラシを入れて周知を図るとともに、スマートフォン等による利用数をグラフで可視化して表し、課題を整理しました。</p> <p>② 院内で配布する「フロアのごあんない」に英語表記を追加しました。</p> <p>③ 「患者さんアンケート」で意見があった血液検査の待ち時間解消について、患者が希望する場合、検査と診療の日を分けて予約するよう勧めることで、待ち時間の短縮を図りました。また開院直後の順番待ちに関しては、パーティションの位置を工夫し、安全な受付体制を整備しました。</p>

重点的な取り組み：働き方改革の推進及び誇りとやりがいを持って働く職場環境の醸成

本院では、医師の働き方改革への対応に向けた取り組みをはじめとする医療従事者の負担軽減や処遇改善を実施するなど、職員が働きやすい職場環境の整備に取り組んできました。

看護師において昨年度から開始した特定行為研修の更なる拡大など、職種ごとでスキルアップが図られるような各種研修を充実させるとともに、メンタルヘルス研修及びハラスメント防止研修の開催や職員満足度調査の実施などを通じて、本院で働く職員が誇りとやりがいを持って働き続けることができる環境を醸成するための取り組みを進めます。

実績	① メンタルヘルス研修やハラスメント防止研修の実施。 ② 医療従事者の負担軽減への取り組み。
説明	① 職員が心の快適さと業務パフォーマンスの向上に取り組むための考え方を学ぶメンタルヘルス研修や、組織としてハラスメントを起こさない環境・体制作りに向けてハラスメントの基礎や実際の例を学ぶ研修を通じて、職員の労働環境の改善に向けた取り組みを行いました。 ② 医療従事者の負担軽減計画を策定し、専門職の業務を補助する職員の配置や職種間での業務の分担といったタスクシェアリングを行うなど負担軽減に取り組みました。